



本堂客殿建設進捗状況



蓮華は極楽世界の花ですし、悟ることができるということ
を表わした花でもあります。経には、普賢菩薩の十の大願が
説かれています。①、諸仏を敬い（他を尊敬する）。②、如
來を称讃し（他をたたえる）。③、広く供養を修し（慈善救
済）。④、罪を懺悔し。⑤、功徳をよるこび。⑥、仏の説法
を請う（徳を身につけ）。⑦、仏の、世にとどまることを願
う（報恩と感謝）。⑧、常に仏にしたがって学び（精進）。
⑨、つねに衆生にしたがい（他人と生活するのを楽しみ）。
⑩、これらの功徳をことごとく衆生に廻向する（わけあつ
て、共に利益をうける）。この十大誓願は、つまるところ「み
んなをいあわせに」という普賢菩薩の願いであり、また「す
べてによくすること」でもあります。人間のあるべき姿とも
いえるわけです。



<http://jurakuin.com>

亡き人やお不動さまから始まって、お釈迦さま・文殊さま
について三・七日から四・七日までの七日間の導きを普賢さ
まからいただきます。これまででは、もっぱら仏教の教えにつ
いての導きをいただいたので、今度は修行の導きをいただ
くこととなります。普賢さまは修行を担当する菩薩さまで
す。人々に対して、あなたの内の仏性を呼びさまし、修行
の道に入るようにと祈っている意味のお姿をしています。
普賢さまは寿命を延ばしてくださる仏さま、「普賢延命菩
薩」としても信仰されています。
十三仏としての普賢さまは、左手に蓮華を持ったお姿で、

四・七日忌の普賢菩薩

十三仏の事典